



株式会社島津製作所(東証プライム市場 : 証券コード7701)

2024年3月期 中間期決算説明会

代表取締役社長 CEO 山本靖則 | 2023年11月8日

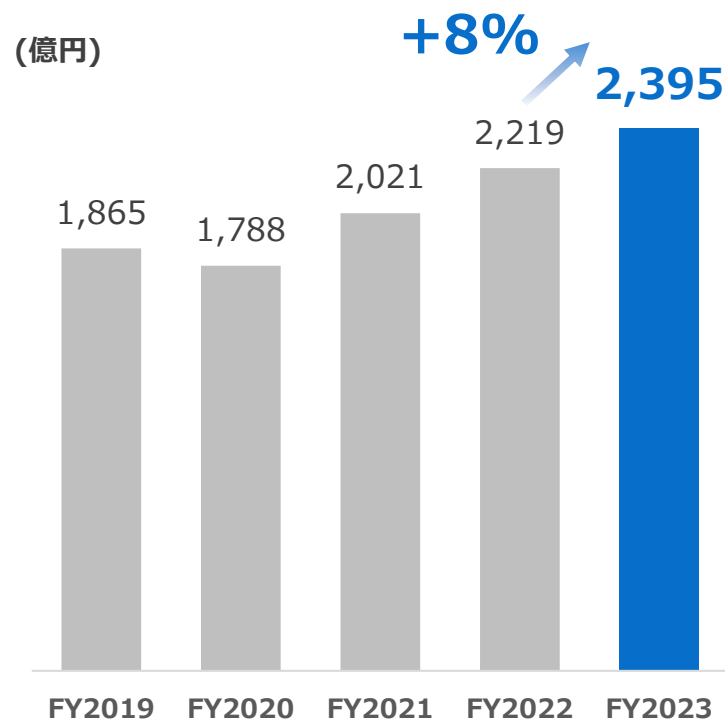
01 決算概要

中間期決算業績サマリー

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

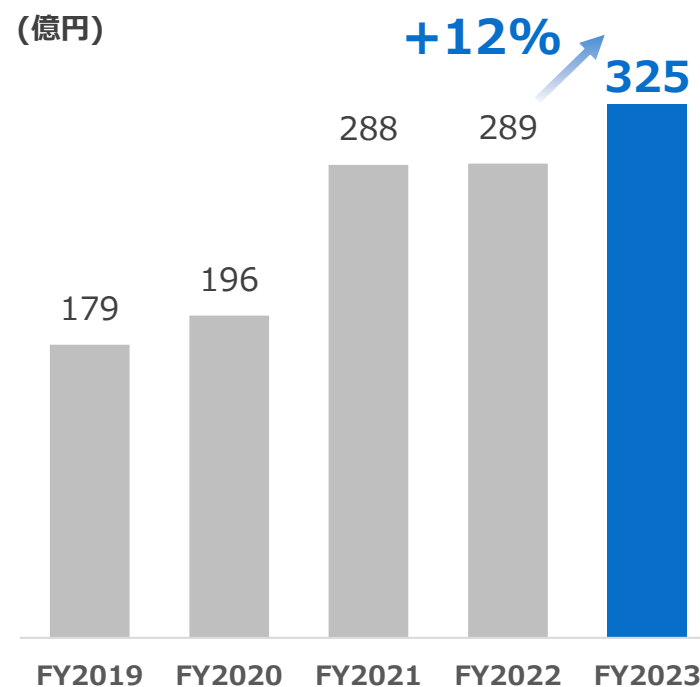
売上高

計測、産業、航空が増加し
3期連続過去最高更新



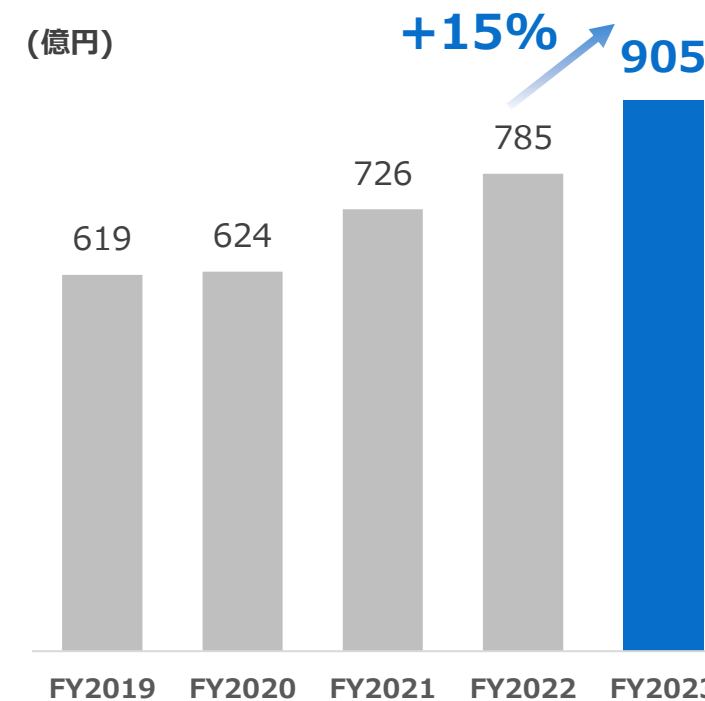
営業利益

68億円の成長投資を進めた中、
売上増やプロダクトミックス改善により
9期連続過去最高更新



計測 重点機種

重点機種3機種ともに前年比**+10%以上**
FY2022 4Qから3四半期連続で**2桁増**



*重点機種3機種：LC(液体クロマトグラフ)、MS(質量分析システム)、GC(ガスクロマトグラフ)

損益計算書

- 売上高、営業利益、経常利益、当期純利益 全て過去最高を更新
- 積極的な人的投資や研究開発投資を進めた一方で、採算性向上にも取り組み営業利益率を改善

売上高

前年同期比：+176億円/+8%

2,395億円

営業利益

前年同期比：+36億円/+12%

325億円

営業利益率

前年同期比：+0.6pt

13.6%

当期純利益

前年同期比：+21億円/+8%

266億円

単位：億円

中間期(4月-9月)

前年同期比

FY2022

FY2023

増減額

増減率

業績

売上高

2,219

2,395

+176

+8%

営業利益

289

325

+36

+12%

営業利益率

13.0%

13.6%

+0.6pt

経常利益

331

359

+27

+8%

親会社株主に帰属する当期純利益

245

266

+21

+8%

為替

平均為替レート：米ドル(円)

134.02

141.03

+7.01

+5%

ユーロ(円)

138.78

153.43

+14.65

+11%

研究開発費

87

102

+15

設備投資額

121

121

▲0

減価償却費

92億円(前年85億円)

為替影響額

売上高：**76億円**

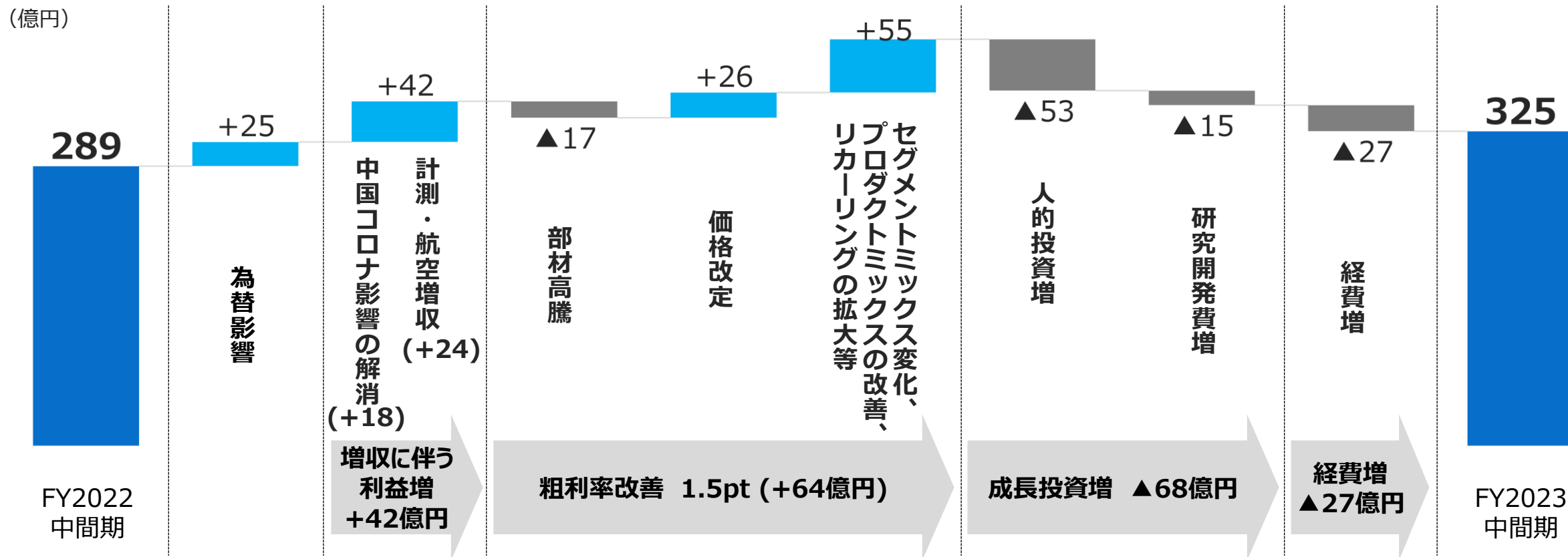
営業利益：**25億円**

営業利益増減要因 (4-9月)

営業利益は、36億円増加し325億円に

- 増収に伴う利益増 : 計測・航空の増収に伴う粗利増や中国コロナ影響の解消
- 粗利率改善 : 価格改定の推進、プロダクトMIX改善など
- 成長投資増加 : 人的投資、研究開発投資などの成長投資を増やした

+42億円
+64億円
68億円 (利益押下げ)



セグメント別損益（4-9月）

- 計測、産業、航空は増収増益。医用は減収減益。計測、医用、産業、航空の4セグメントで粗利率改善

**計測機器：増収増益
過去最高**

医用機器：減収減益

**産業機器：増収増益
過去最高**

航空機器：増収増益

売上高
重点機種がヘルスケア・グリーン領域で増加。中国コロナ感染の影響減
営業利益
増収効果や価格改定、LC売上高増加による粗利率改善等により増益

売上高
医療機関の投資抑制、大口案件の反動、補正予算減
営業利益
粗利率は改善したが、減収に伴い減益

売上高
グリーン向けTMP、工業炉・油圧が増加
営業利益
粗利率の高い工業炉の売上高増加や価格改定の推進で粗利率改善

売上高
防衛・民間航空ともに増加
営業利益
増収効果に加え、採算性も改善し大幅増益

単位 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2022 中間期	FY2023 中間期	前年同期比		FY2022 中間期	FY2023 中間期	前年同期比		FY2022 中間期	FY2023 中間期	前年同期比 増減
			増減額	増減率			増減額	増減率			
計測機器	1,415	1,587	+173	+12%	238	266	+28	+12%	16.9%	16.8%	▲0.1pt
医用機器	376	334	▲42	▲11%	29	16	▲12	▲43%	7.6%	4.9%	▲2.7pt
産業機器	304	308	+5	+1%	26	33	+7	+25%	8.5%	10.5%	+2.0pt
航空機器	105	132	+27	+25%	3	14	+10	+321%	3.1%	10.3%	+7.2pt
その他	19	34	+15	+77%	3	4	+1	+43%	9.4%	8.7%	▲0.7pt
調整額	-	-	-	-	▲10	▲7	+3	-	-	-	-
合計	2,219	2,395	+176	+8%	289	325	+36	+12%	13.0%	13.6%	+0.5pt

02 セグメント別業績

計測機器/機種別売上高・リカーリング比率

- 重点機種：LCはヘルスケア領域、MSはアカデミア向け、GCはグリーン領域で増加し、15%増収
- その他機種：試験機がマテリアル領域で増加したことや、中国の政府支援策によりアカデミア向けが増加し、8%増収
- リカーリング：島津ダイアグノスティクス社(SDC)の連結と保守サービス増加により売上高増加

重点機種売上高

前年同期比 +120億円/ +15%
905億円

- LCはヘルスケア領域(医薬向けなど)で増加
- MSはアカデミア向けに増加
- GCはグリーン領域(化学向けなど)で増加

その他機種売上高

前年同期比 +52億円/ +8%
682億円

- 試験機がマテリアル領域(新素材開発など)で増加
- 中国アカデミア向けに複数の機種が増加
- コロナ関連が大きく減少

リカーリング比率

前年同期比 ▲ 1pt (売上高+54億円)
37%

- 売上高増加。装置売上高も伸長したため、リカーリング比率は1pt低下の37%

重点機種

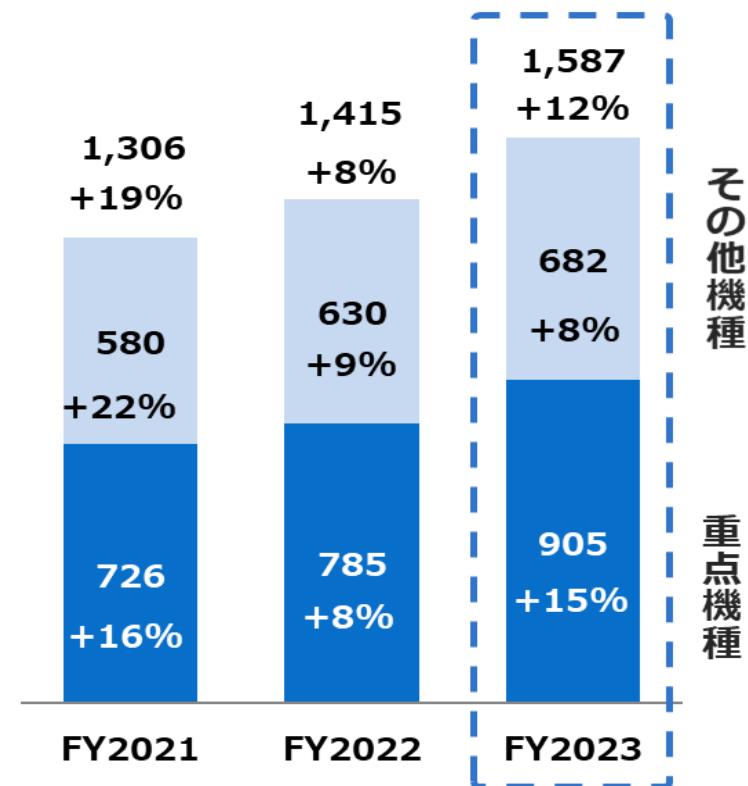


その他機種



中間期売上高

(億円)



%表記は前年同期比増減率

その他機種
重点機種

計測機器/地域別売上高

- ・ 日本：ヘルスケア領域、グリーン領域で重点機種が増加。特にLCが2Qに医薬向けに増加。試験機がマテリアル領域で増加
- ・ 海外：欧州、その他アジアは1Q、2Qともにヘルスケア領域で重点機種拡大。北米は1Qに医薬分野の設備投資減少影響を受けたが、2Qから回復傾向。中国は、CRO、医薬分野を中心に停滞するが、コロナ影響収束により増収

単位 億円		FY2022	FY2023	前年同期比		概況
				増減額	増減率	
日本	中間期	501	542	+41	+8%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬向けにLC、アカデミア向けにMS、新エネルギー分析用途でGC、新素材開発用途で試験機が増加、特に2Qで医薬向けLCが大幅に増加 ・ 島津ダイアグノスティクス社の業績が貢献（FY2022下期から連結） ・ 新型コロナウイルス感染者の減少によりPCR関連が減少（1Q ▲16億円、2Q ▲35億円）
	1Q	209	221	+11	+5%	
	2Q	291	321	+30	+10%	
海外	中間期	914	1,045	+131	+14%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外売上高比率は1pt増の66%
	1Q	408	493	+84	+21%	
	2Q	506	552	+47	+9%	
北米	中間期	159	163	+4	+3%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1Qは医薬分野で設備投資が減少したが、2Qになり回復傾向 ・ 大気分析用途でMS、GCが増加 ・ 機能性食品向けにLCが減少 ・ 一部の大手顧客向けにMALDIが減少
	1Q	71	72	+1	+1%	
	2Q	87	91	+3	+4%	
欧州	中間期	145	179	+34	+23%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1Q、2Qともに医薬向けにLC、新エネルギー分析用途でGCが増加 ・ 医薬受託分析市場の回復によりLC増加
	1Q	71	85	+14	+20%	
	2Q	74	94	+20	+27%	
中国	中間期	360	397	+36	+10%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬分野・CROを中心に景況感は停滞 ・ 前年のコロナ影響：1Qロックダウン影響 約▲45億円、2Qはロックダウン影響の戻り 約+10億円 ・ 1Q:政府支援策により、アカデミア向けに重点機種含め複数の機種が増加 2Q:実質昨年横ばい
	1Q	145	191	+46	+31%	
	2Q	215	206	▲9	▲4%	
その他の アジア	中間期	186	218	+33	+18%	<ul style="list-style-type: none"> ・ インド(中間期：+20%)：医薬(原薬)や化学向けにLC、MSが増加 ・ 東南アジア(中間期：+23%)：医薬品検査の厳格化や自国生産強化などでLC、MSが増加
	1Q	89	102	+13	+15%	
	2Q	97	116	+19	+20%	

医用機器/機種別売上高・リカーリング比率

- **X線装置** : 血管撮影システムは新製品が貢献し増加（売上+12%、受注+50%）
補正予算の反動などで撮影装置、X線TVシステムが減少
- **その他機種** : 放射線治療用動体追跡システムの大口案件の反動減などで減少

X線装置売上高

前年同期比 ▲14億円/▲5%

255億円

- 血管撮影システム: AIによる画像処理技術を搭載した新製品が増加
- X線TVシステム: 中国で新製品が貢献するが、日米で病院の投資抑制により減少
- 撮影装置: 日本で前年補正予算の反動などで減

その他機種売上高

前年同期比 ▲28億円/ ▲26%

79億円

- 前年の放射線治療用動体追跡システムの大口案件の反動減

リカーリング比率

前年同期比 +3pt（売上高▲3億円）

38%

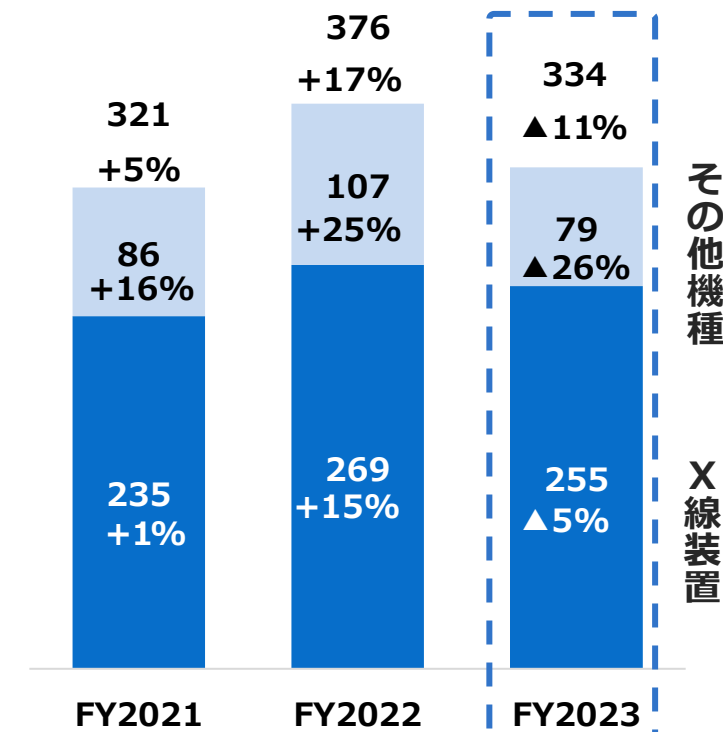
X線装置



その他



中間期売上高 (億円)



産業機器/機種別売上高・TMPリカーリング比率

- ・TMP：半導体製造装置向けが減少。グリーン関連向け（建材ガラス・薄膜太陽電池製造装置向け）が前年同期比2.5倍と大幅に増加
- ・油圧：国内でフォークリフト・小型建機・特装車両向けが増加し9%増収
- ・その他：ガラスワインダの減少をEV用セラミック製造向け工業炉が補い、横ばい

TMP売上高
前年同期比▲3億円/▲1%
151億円

- ・グリーン関連として建材ガラス・薄膜太陽電池製造装置向けが大幅に増加、SPE*向け減少

TMPリカーリング比率
前年同期比▲1pt（売上高▲1億円）
14%

油圧機器売上高
前年同期比 +6億円/+9%
79億円

- ・主に国内でフォークリフト、小型建機向けに増収

その他機種売上高
前年同期比 +0億円/ +0%
77億円

- ・EV用セラミック製造向けで工業炉が増加したもののガラスワインダが減少

ターボ分子ポンプ(TMP)



電源一体型



電源別置き型

油圧機器



ギヤポンプ



コントロールバルブ

その他



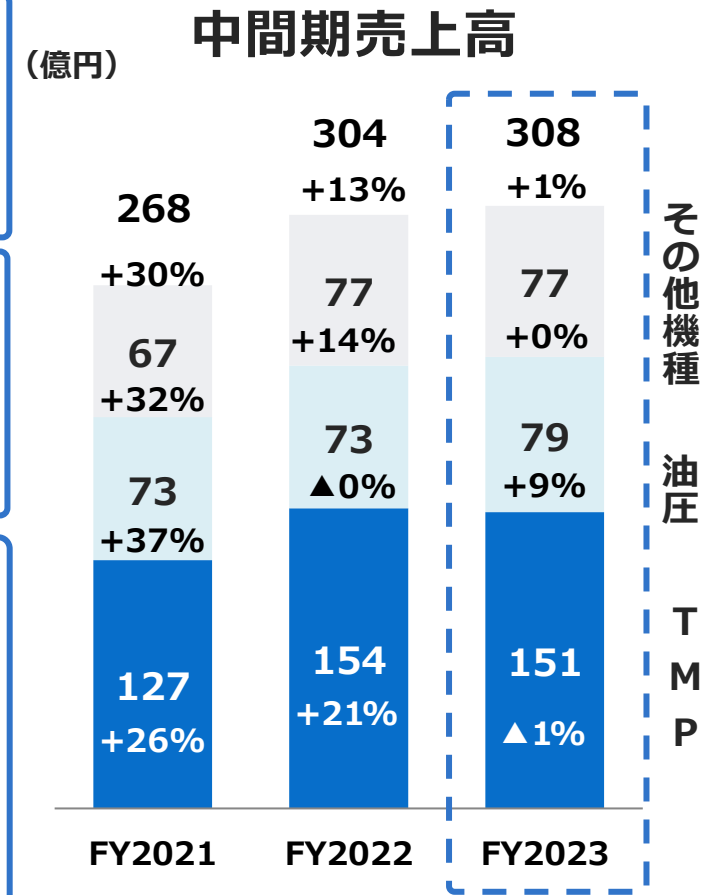
工業炉



ガラスワインダ



balancer



%表記は前年同期比増減率

航空機器/分野別売上高

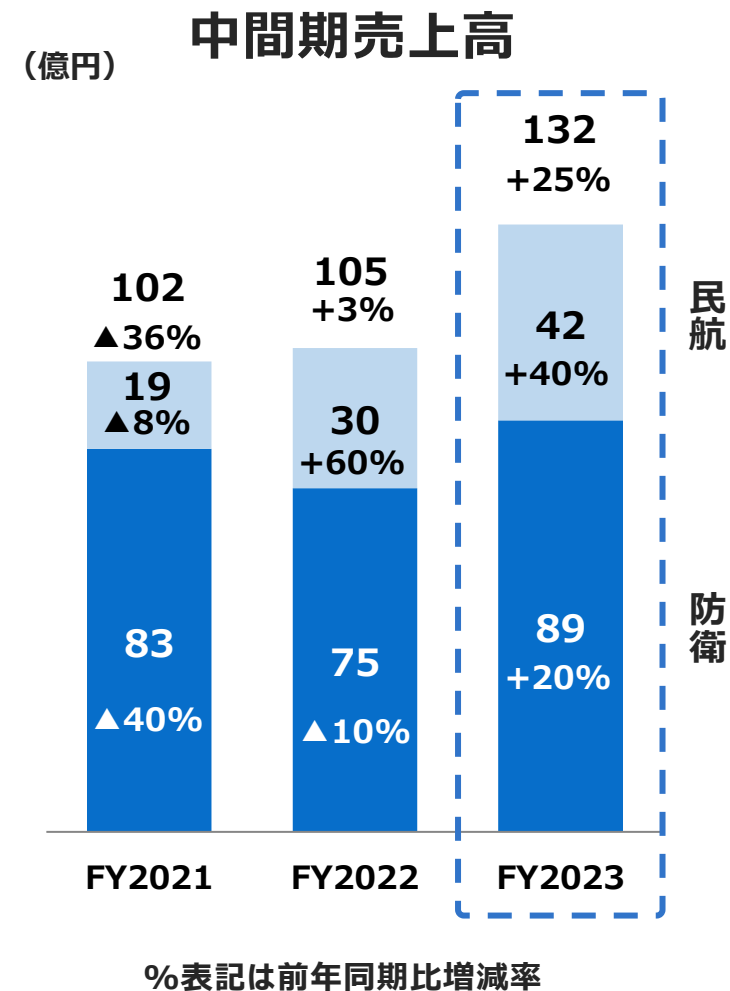
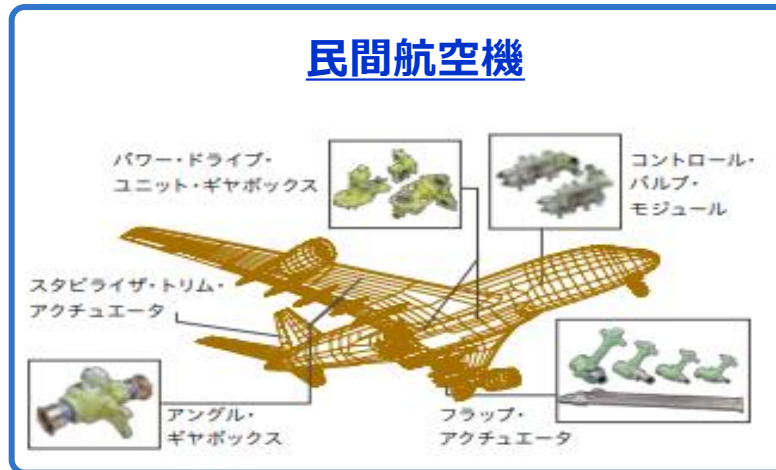
- ・防衛分野は、修理用部品の需要拡大により増加
- ・航空旅客需要の回復による航空機増産や価格改定により、民間航空旅客機向け売上高が過去最高を更新

防衛分野売上高
前年同期比 +15億円/ +20%
89億円

- ・ 売上平準化の取組を推進
- ・ 修理用部品の増加

民間航空機分野売上高
前年同期比 +12億円/ +40%
42億円

- ・ 旅客需要が回復。航空機増産に伴い、搭載機器が増加



03 2023年度通期業績予想

・下期も不透明な状況が続くものと予想されるが、注力領域でのトータルソリューション提供や新製品の拡販を行う

計測

日本：医薬分野、グリーン（新エネルギー、新素材向け）分野で投資が継続
北米：医薬分野が回復傾向、PFAS規制対応とグリーン分野で投資が進む
欧州：景況感は弱含むが、臨床・医薬・グリーン分野は投資継続を期待
中国：市況は厳しいが、アカデミア、臨床、グリーン分野で動きが継続すると期待
その他アジア：医薬分野を中心に投資が継続



液体クロマトグラフ
質量分析システム
LCMS-2050



新エネルギー分析用
ガスクロマトグラフ
GC-2050



EV検査用
非破壊検査装置
卓上型

EV新材料評価用
精密万能試験機
オートグラフ

医用

日本：コロナ5類移行により診療がコロナ前の状態に戻り、病院経営が改善すると期待
北米：設備投資に回復の兆しがみられる
中国：腐敗防止で入札延期などが発生
その他アジア：医療機器への投資が継続



動画対応デジタル回診装置



血管撮影システム
Trinias

産業

TMP：半導体製造装置向け市場の回復は2024年夏頃の見込み。中国・欧州のグリーン分野は需要継続
油圧：小型建機、特装車両分野が堅調に推移
工業炉：EV用セラミック製造向け需要継続



ターボ分子ポンプ



工業炉

2023年度通期業績予想

売上高・利益すべての項目で上方修正。4期連続で売上高・利益で過去最高更新を目指す

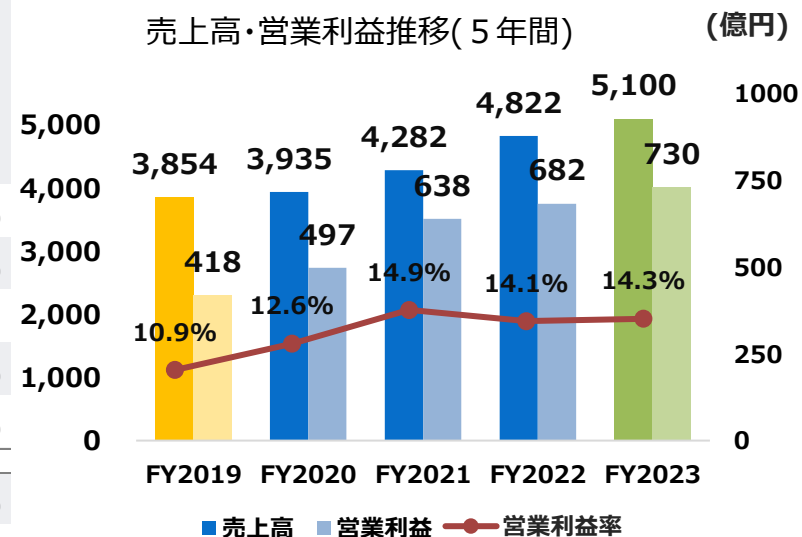
売上高
前期比：+278億円/ +6%
5,100億円

営業利益
前期比：+48億円/ +7%
730億円

営業利益率
前期比：+0.2pt
14.3%

当期純利益
前年同期比：+30億円/+6%
550億円

業績	単位：億円	通期			前期比	
		FY2022	FY2023 前回予想	FY2023 新予想	増減額	増減率
売上高		4,822	5,000	5,100	+278	+6%
営業利益		682	710	730	+48	+7%
営業利益率		14.1%	14.2%	14.3%	+0.2pt	
経常利益		709	710	740	+31	+4%
親会社株主に帰属する当期純利益		520	530	550	+30	+6%
為替	平均為替レート：米ドル(円)	135.51	130.00	138.00	+2.49	+2%
	ユーロ(円)	141.02	140.00	149.00	+7.98	+6%
	研究開発費	190	220	220	+30	
	設備投資額	225	250	250	+25	



減価償却費
180億円

為替感応度

	米ドル	ユーロ
売上高	15億円	3億円
営業利益	5億円	1億円

2023年度通期セグメント別業績予想

・計測、産業、航空で増収増益。主力の計測は4期連続で増収増益を計画

**計測機器：増収増益
過去最高**

**医用機器：減収減益
利益回復**

**産業機器：増収増益
過去最高**

航空機器：増収増益

・ヘルスケア、グリーン領域に新製品、ソフトウェア、自動化システムなどトータルソリューションを提供
・米国は医薬、グリーン向け強化、中国はアカデミア、臨床向け強化 (P20-22参照)

・イメージングトランスフォーメーションに対応した新製品拡販（動画対応の回診車、AI対応の血管撮影システムの拡販等）
・シニアヘルスケア事業（骨<X線TV>、血管治療<血管撮影システム>、認知症）の強化

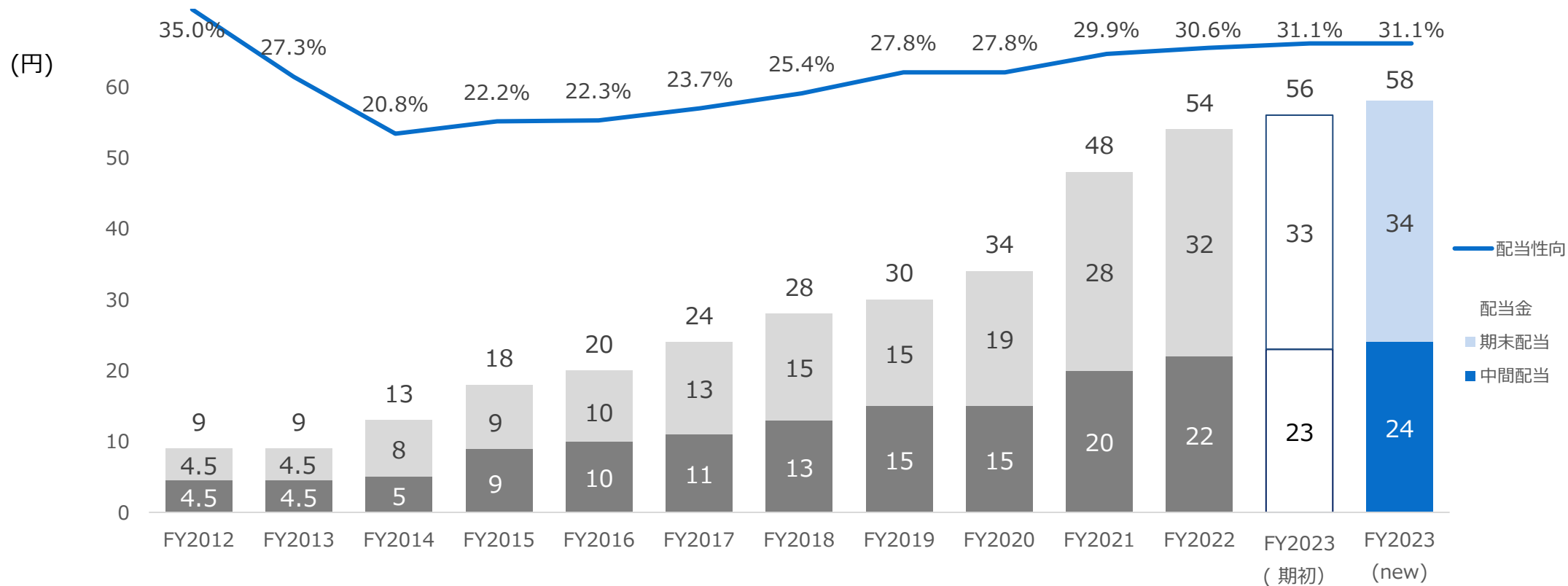
TMP：グリーン向けTMP増産、計測機器搭載用TMPの拡販
油圧：島津が強みを持つ静音ポンプの拡販
工業炉：日・中でEV用セラミック製造向け拡販

防衛：修理用部品需要は継続、生産効率向上活動を継続
民間：旅客需要の回復が継続
航空機増産に伴い需要拡大
価格交渉を継続

単位: 億円	売上高					営業利益					営業利益率			
	FY2022	FY2023 前回予想	FY2023 新予想	前期比		FY2022	FY2023 前回予想	FY2023 新予想	前期比		FY2022	FY2023 前回予想	FY2023 新予想	前期比 増減
				増減額	増減率				増減額	増減率				
計測機器	3,147	3,250	3,400	+253	+8%	576	600	622	+46	+8%	18.3%	18.5%	18.3%	▲0.0pt
医用機器	759	770	740	▲19	▲2%	55	56	54	▲1	▲2%	7.3%	7.3%	7.3%	▲0.0pt
産業機器	630	650	630	+0	+0%	54	62	60	+6	+11%	8.6%	9.5%	9.5%	+0.9pt
航空機器	240	280	280	+40	+17%	14	17	22	+8	+58%	5.8%	6.1%	7.9%	+2.1pt
その他	47	50	50	+3	+6%	6	5	2	▲4	▲66%	8.4%	6.7%	2.7%	▲5.7pt
調整額	-	-	-	-	-	▲23	▲30	▲30	-	-	-	-	-	-
合計	4,822	5,000	5,100	+278	+6%	682	710	730	+48	+7%	14.1%	14.2%	14.3%	+0.2pt

株主還元

- ・配当金：期初想定比2円増配（中間+1円、期末+1円）、前年比+4円となり10期連続の増配
- ・配当性向：還元方針（配当性向30%以上）に基づき、31.1%を予定



04 トピックス

- **今年度業績達成に向けた取り組み**
 - **北米（製薬・グリーン）**
 - **中国（アカデミア・臨床・グリーン）**
 - **ヘルスケア領域（食品検査市場）**

今年度業績達成に向けた取り組み 計測_北米（製薬）

事業環境

- ◆ 2Qから投資回復の兆し。下期も、製薬市場（創薬、品質管理部門）の投資は継続する見込み
* 製薬市場向け受注（1Q：対前年▲20%以上、2Q：同+20%以上）

- ◆ 新製品を積極的に展開し、顧客ワークフローに沿った核酸医薬分析向けトータルソリューションを提供
- ◆ 核酸医薬品はオリゴ核酸で構成/合成過程で多種の不純物発生/熱安定性や構造、配列の確認が重要

ターゲットの選定
修飾・改良

オリゴ核酸を合成

精製（不純物除去）

特性解析
品質管理

薬物動態
DDS*

施策

不純物の分離・分析



核酸医薬向け
超高速液体クロマトグラフ
Nexera XS inert



液体クロマトグラフ質量分析システム
LCMS-2050

カラム精製(分取) オリゴ核酸のみを分離



セミ分取超臨界流体クロマトグラフ
Nexera UC Prep

※米国大手製薬が参画する
コンソーシアム（ETC：
Enabling Technologies
Consortium）
の要求仕様をもとに製品化。

核酸の熱安定性の確認



紫外可視分光光度計
Tm解析システム

※核酸の熱安定性を
ワンステップで実行

配列の確認



液体クロマトグラフ質量分析システム
LCMS-9050

オリゴ核酸配列解析ソフトウェア
LabSolutions Insight Biologics

※測定から解析までを自動で実行し、
解析時間は従来比1/10以下



マトリックス支援レーザー脱離イオン化
飛行時間型質量分析システム
MALDI-8030/8020

今年度業績達成に向けた取り組み 計測_北米 (グリーン)

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

事業
環境

- ◆ 世界の大手自動車メーカー10社が北米へEV投資20兆円超を計画（インフレ抑制法に対応するため、EV及び関連製品生産増）
- ◆ 自動車・リチウムイオン電池メーカーに豊富な製品ラインナップによるトータルソリューションを提供



施策

粒子の物性・特性評価



NEW

走査型プローブ顕微鏡
SPM-Nanoa

ダイナミック粒子画像解析システム
iSpect DIA-10



粒子の圧縮試験機
MCTシリーズ

セパレータ・電解液の評価

ガスクロマトグラフ質量分析システム
GCMS-QP2020 NX



NEW



NEW

精密万能試験機
オートグラフ AGX-V2



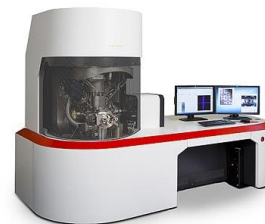
NEW

エネルギー分散型
蛍光X線分析装置
EDX-7200

電極の評価



電子線マイクロアナライザ
EPMA-8050G



イメージングX線光電子分析装置
KRATOS ULTRA2

セルの評価



マイクロフォーカスX線CTシステム
inspeXio SMX-225CTシリーズ



EV検査用
卓上型
非破壊検査装置



NEW

ガスクロマトグラフ
Brevis GC-2050

今年度業績達成に向けた取り組み 計測_中国

事業環境

- アカデミア** : 上期は政府支援策により好調。下期は、地方の教育機関向け（職業大学・専門学校）に政府支援が実施される
- 臨床** : 医療機関向けにTDM（治療薬物モニタリング）、ビタミン分析用途でハイエンドLCMSの需要が継続
- グリーン** : EV市場拡大に伴うリチウムイオン電池、太陽光・風力発電、水素などの新エネルギー向け投資は継続することを期待
- 医薬・CRO** : CROは欧米からの受託分析減少、医薬は設備投資減少見込みで下期も厳しい

施策

- アカデミア** : 中国生産品を活用して、豊富な製品ラインアップでトータルソリューションを提案
- 臨床** : 中国の試薬メーカーとパートナーを組みLCMSをOEM供給引き続き、希少疾患などの試薬メーカーとの協力関係を拡充
- グリーン** : 北米のEV展開と同様の活動に加え、太陽光・風力発電メーカーへ、豊富な製品ラインアップでトータルソリューションを提案
- 医薬・CRO** : 2025年薬典改訂に向けて漢方薬分析のアプリケーションを開発（CRO需要は中国から欧米、アジアへシフト。成長地域で営業強化）

中国生産品の拡大



液体クロマトグラフ質量分析システム
LCMS-8050



精密万能試験機
オートグラフ AGX-V2



ガスクロマトグラフ質量分析システム
GCMS-QP2020 NX



イメージングX線光電子分析装置
KRATOS ULTRA2

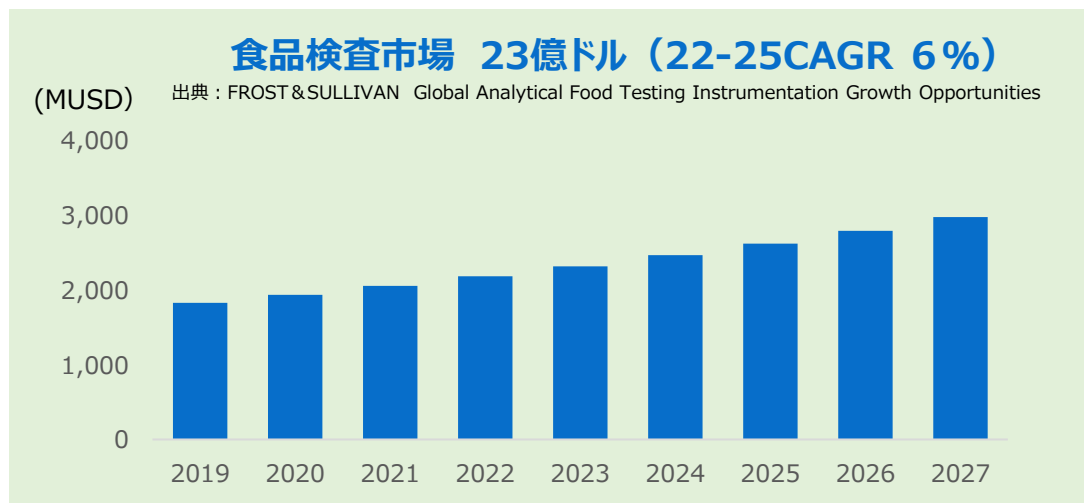


マイクロフォーカスX線CTシステム
inspeXio SMX-225CTシリーズ

今年度業績達成に向けた取り組み ヘルスケア領域：食品検査市場

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

・残留農薬分析や微生物検出・同定等により、食品安全強化のための食品検査ニーズが市場をけん引



残留農薬分析：迅速かつ高感度な多成分の一斉スクリーニング分析が必要

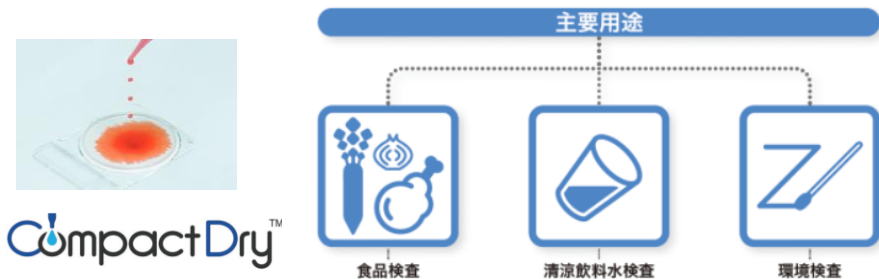
- 高感度かつ高速性能の質量分析システム、分析メソッドやデータ解析ソフトウェアなどの提供



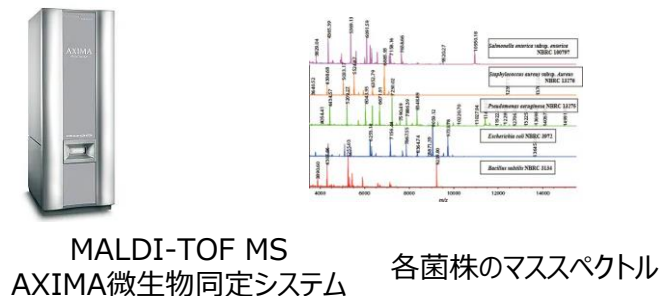
微生物検出・同定：食中毒の予防（事故発生時の対応や再発防止に、原因微生物の特定が不可欠）

- 菌の有無確認（島津ダイアグノスティクス製培地調製のいらない菌数測定用培地）
- 質量分析システムによるタンパク解析技術や核酸増幅技術を用いることで、簡便・迅速な・高感度な微生物の検出・同定が可能

菌の有無検査（増殖）



分析



データ解析





本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

お問い合わせ先：(株)島津製作所

コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ

電話：075-823-1673

E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

補足資料

損益計算書 (7-9月)

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

売上高

前年同期比：+71億円/+6%

1,303億円

営業利益

前年同期比：▲2億円/▲1%

193億円

営業利益率

前年同期比：▲1.0pt

14.8%

当期純利益

前年同期比：▲4億円/▲2%

155億円

	単位：億円	第2四半期(7月-9月)		前年同期比	
		FY2022	FY2023	増減額	増減率
業績	売上高	1,233	1,303	+71	+6%
	営業利益	195	193	▲2	▲1%
	営業利益率	15.8%	14.8%	▲1.0pt	-
	経常利益	210	202	▲8	▲4%
	親会社株主に帰属する当期純利益	158	155	▲4	▲2%
為替	平均為替レート：米ドル (円)	138.40	144.67	+6.27	+5%
	ユーロ (円)	139.40	157.37	+17.97	+13%
	研究開発費	44	53	+8	
	設備投資額	63	64	+0	

減価償却費

47億円

為替影響額

売上高：40億円

営業利益：0億円

セグメント別損益（7-9月）

計測機器：増収増益
過去最高

医用機器：減収減益

産業機器：増収増益
過去最高

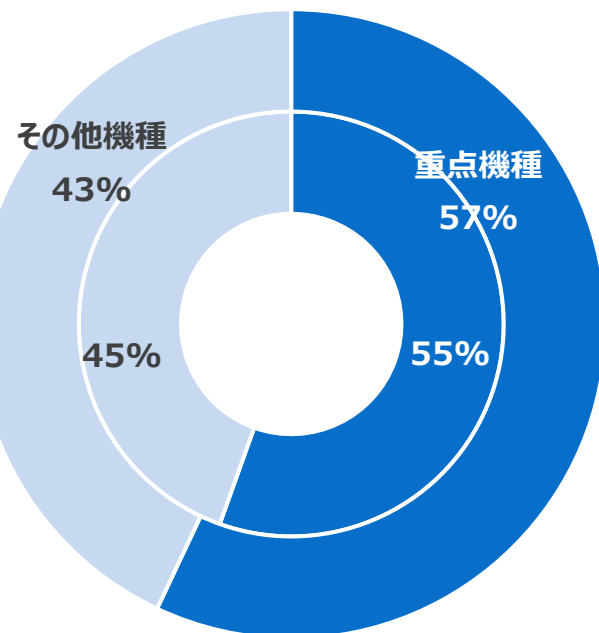
航空機器：増収増益

単位 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2022	FY2023	前年同期比		FY2022	FY2023	前年同期比		FY2022	FY2023	前年同期比
			増減額	増減率			増減額	増減率			増減
計測機器	797	873	+77	+10%	155	158	+3	+2%	19.4%	18.1%	▲1.4pt
医用機器	212	190	▲22	▲10%	26	16	▲10	▲39%	12.4%	8.4%	▲4.0pt
産業機器	157	161	+4	+2%	13	13	+0	+1%	8.2%	8.1%	▲0.1pt
航空機器	57	70	+12	+22%	2	8	+6	+269%	3.6%	10.9%	+7.3pt
その他	9	9	▲0	▲3%	3	2	▲1	▲33%	22.7%	15.1%	▲7.6pt
調整額	-	-	-	-	▲5	▲4	-	-	-	-	-
合計	1,233	1,303	+71	+6%	195	193	▲2	▲1%	15.8%	14.8%	▲1.0pt

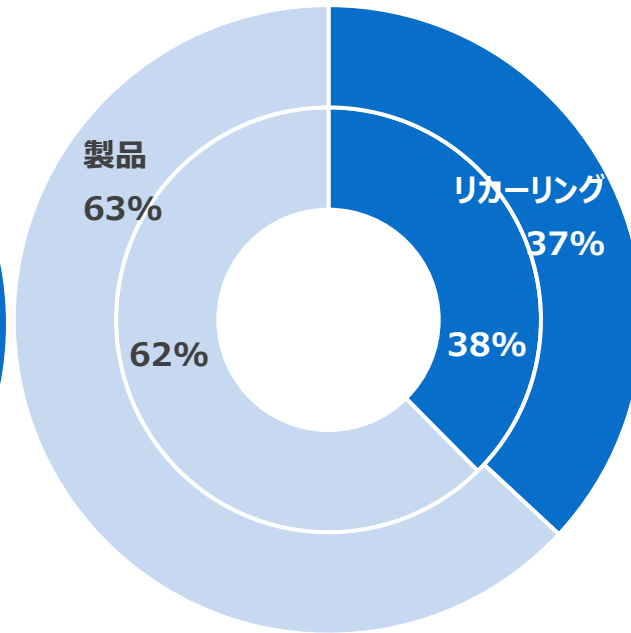
計測機器/各種売上高構成比率（4-9月）

Excellence in Science
&
Best for Our Customers

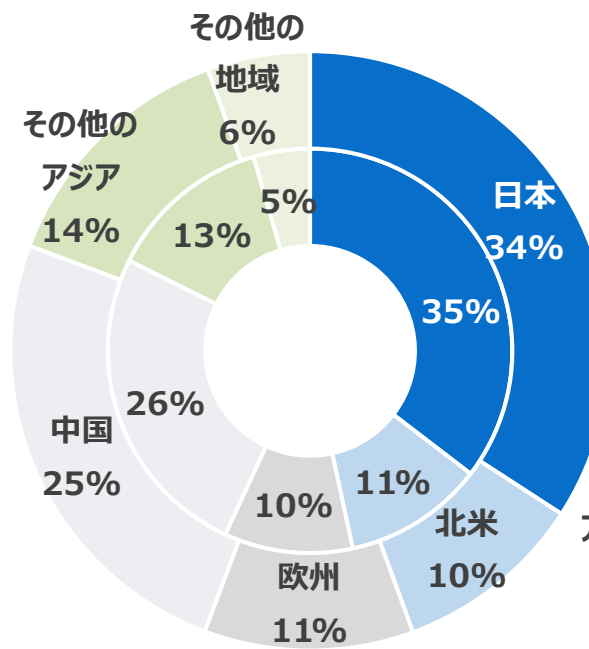
機種別



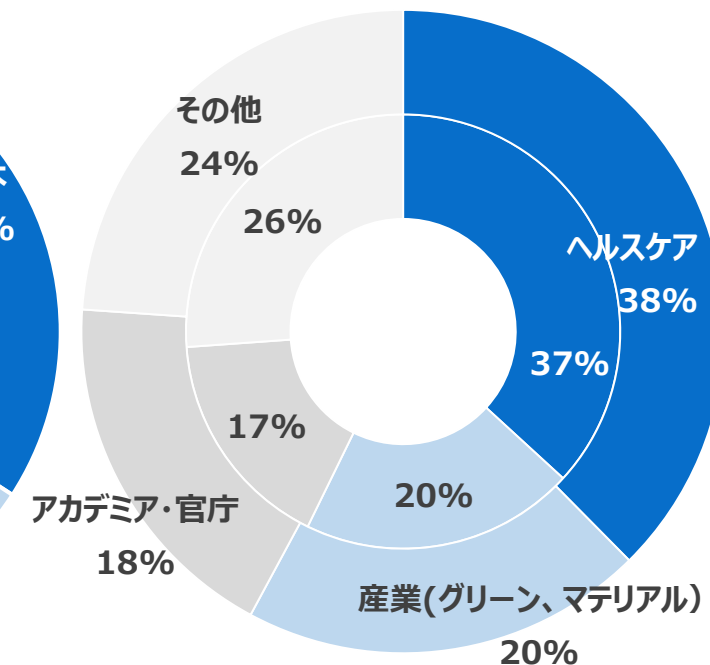
機器/リカーリング



地域別



市場別



※円グラフ外側はFY2023実績、内側はFY2022実績を示す

計測機器/重点機種売上高前年同期比

- ・重点機種：日本、欧州、その他アジアでヘルスケア領域向けにLC、MSが増加
GCはグリーン領域でグローバルに増加
- ・その他機種：マテリアル領域で試験機が増加

為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
重点機種	+24%	+10%	+10%	+3%	+11%	+2%	+14%	+9%	+25%	+13%	+18%	+13%
全体	+29%	+12%	+9%	+4%	+12%	+1%	+15%	+15%	+20%	+13%	+16%	+10%

為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
重点機種	+20%	+7%	+4%	▲3%	+6%	▲9%	▲2%	▲5%	+14%	▲0%	+12%	+8%
全体	+25%	+9%	+4%	▲0%	+8%	▲8%	+3%	+3%	+13%	+3%	+11%	+6%

※重点機種：液体クロマトグラフ（LC）、質量分析システム（MS）、ガスクロマトグラフ（GC）

計測機器/地域別売上高前年同期比

- ・日本：医薬向けにLC増加。PCR試薬減少をSDCの試薬増で補う。
- ・海外：欧州、その他アジアは重点機種を中心に増加。中国は前年2Qロックダウンの反動増影響

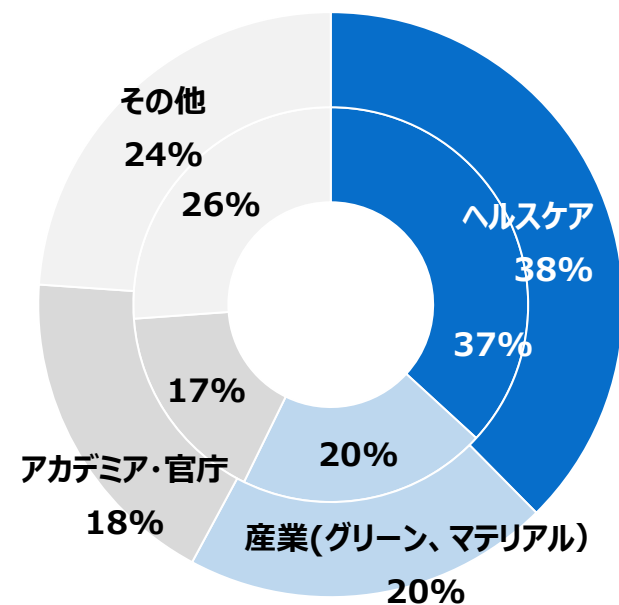
為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
日本	+26%	+12%	+4%	+3%	+9%	▲3%	+4%	+15%	+8%	+7%	+5%	+10%
北米	+35%	+12%	+2%	+9%	+13%	▲2%	+12%	+20%	+22%	+13%	+1%	+4%
欧州	+28%	+17%	+9%	▲2%	+11%	+13%	▲1%	+18%	+28%	+14%	+20%	+27%
中国	+24%	+9%	+9%	▲2%	+10%	▲14%	+36%	+6%	+49%	+17%	+31%	▲4%
その他のアジア	+27%	+10%	+18%	+14%	+17%	+37%	+25%	+24%	+18%	+25%	+15%	+20%
インド	+4%	+3%	+4%	+12%	+6%	+50%	+22%	+26%	+8%	+23%	+27%	+14%

為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
日本	+26%	+12%	+4%	+3%	+9%	▲3%	+4%	+15%	+8%	+7%	+5%	+10%
北米	+31%	+7%	▲7%	+0%	+7%	▲16%	▲9%	▲3%	+6%	▲5%	▲4%	▲1%
欧州	+15%	+11%	+4%	▲4%	+5%	+8%	▲8%	+7%	+19%	+6%	+11%	+13%
中国	+22%	+5%	▲0%	▲12%	+4%	▲28%	+9%	▲14%	+31%	▲3%	+24%	▲9%
その他のアジア	+22%	+6%	+10%	+6%	+10%	+20%	+4%	+4%	+6%	+8%	+10%	+15%
インド	+2%	▲0%	▲3%	+3%	+0%	+27%	▲2%	+2%	▲6%	+2%	+20%	+9%

※インドはその他のアジアの内数

計測機器/市場別売上高比率 (4-9月)

市場別売上高構成比

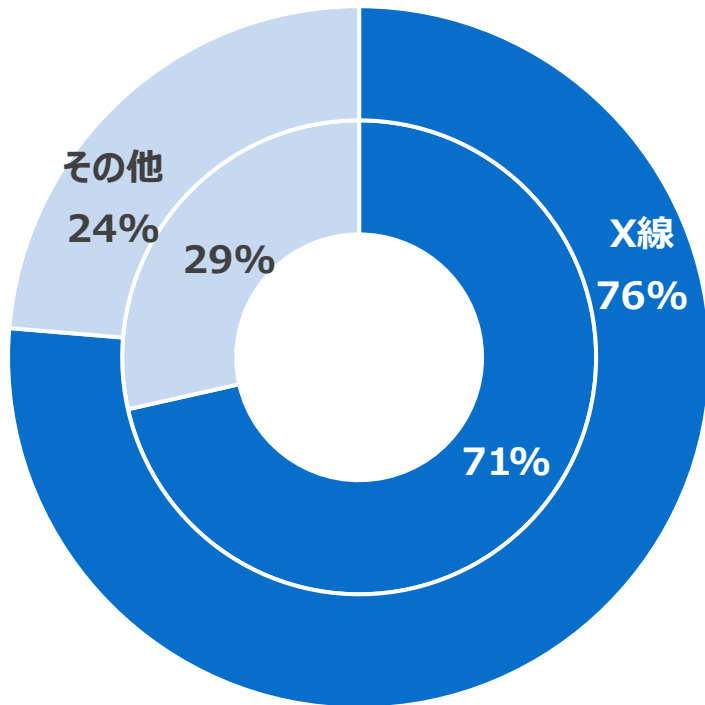


市場と主な業界	構成比		売上高 前年同期比	概況
	FY2022	FY2023		
ヘルスケア <ul style="list-style-type: none"> ●医薬品・食品 ●医療機関 ●受託分析業 	37%	38%	+14%	<ul style="list-style-type: none"> ・日本、欧州、その他アジアで医薬向け増加 ・中国は前年ロックダウンの反動 ・新型コロナウイルス関連は大幅減 ・SDC新規連結による業績貢献
産業 (グリーン、マテリアル) <ul style="list-style-type: none"> ●化学・素材 ●電機 ●自動車 	20%	20%	+11%	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン向け (EV,新エネルギー関連) に、GC、試験機が増加
アカデミア・官庁	17%	18%	+23%	<ul style="list-style-type: none"> ・中国で、政府支援策によりアカデミア向けが大幅増 ・欧州で、グリーン用途などでアカデミア向け増加

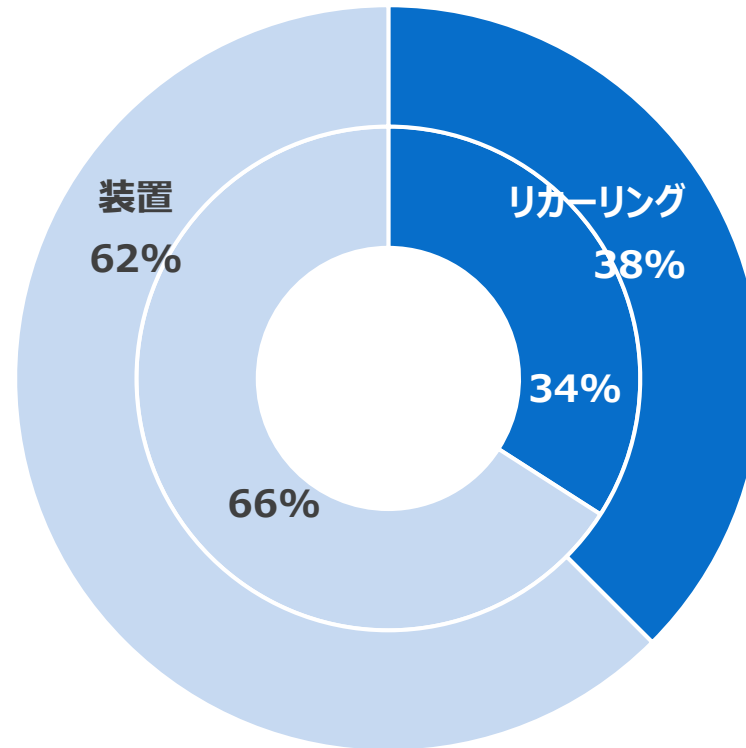
※円グラフ外側はFY2023実績、内側はFY2022実績を示す

医用機器/各種売上高構成比率（4-9月）

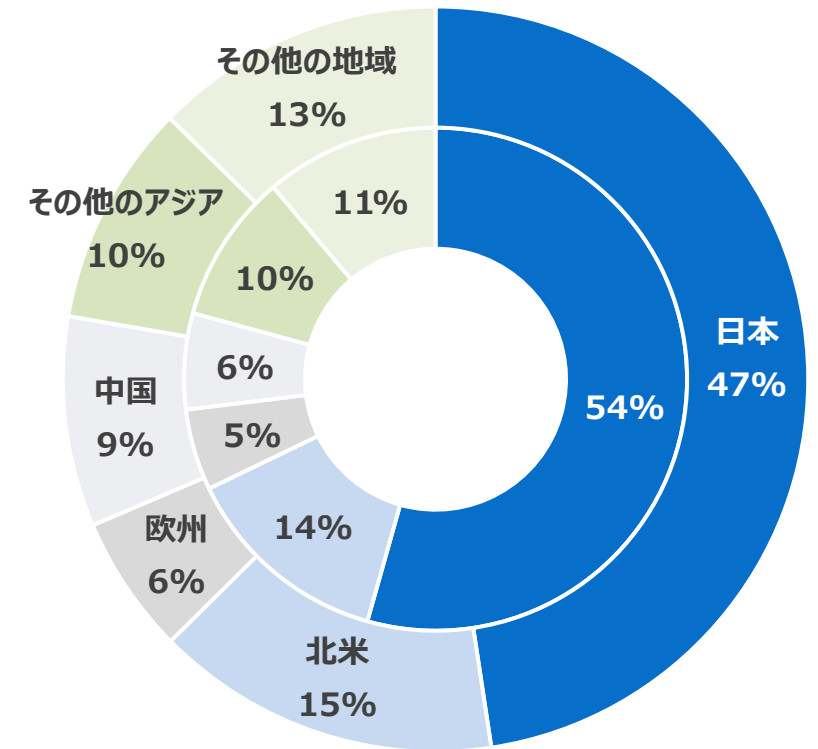
機種別



機器/リカーリング



地域別



※円グラフ外側はFY2023実績、内側はFY2022実績を示す

医用機器/地域別売上高（4-9月）

単位 億円		FY2022	FY2023	前年同期比		概況
				増減額	増減率	
日本	中間期	205	159	▲46	▲22%	<ul style="list-style-type: none"> ・物価上昇に伴う医療機関の投資抑制 ・補正予算の減少 ・前年大口案件（放射線治療用動体追跡システム）の反動
	1Q	94	71	▲23	▲24%	
	2Q	111	88	▲23	▲20%	
海外	中間期	172	175	+3	+2%	<ul style="list-style-type: none"> ・海外売上高比率は7pt増の52%
	1Q	70	73	+2	+3%	
	2Q	101	102	+1	+1%	
北米	中間期	51	50	▲1	▲1%	<ul style="list-style-type: none"> ・血管撮影システムが増加 ・物価や人件費の上昇により医療機関の投資が抑制
	1Q	21	17	▲4	▲18%	
	2Q	30	33	+3	+11%	
欧州	中間期	20	20	+0	+2%	<ul style="list-style-type: none"> ・回診用X線撮影装置の大口案件により一般撮影システムが増加 ・X線TVシステムが減少
	1Q	8	9	+1	+16%	
	2Q	12	11	▲1	▲7%	
中国	中間期	23	30	+7	+31%	<ul style="list-style-type: none"> ・現地生産している新製品のX線TVシステムが増加
	1Q	11	14	+3	+24%	
	2Q	12	17	+5	+38%	
その他の アジア	中間期	36	32	▲4	▲11%	<ul style="list-style-type: none"> ・インドで血管撮影システムが増加 ・前年東南アジア大口案件（回診車）の反動
	1Q	13	16	+3	+20%	
	2Q	23	17	▲7	▲28%	

医用機器/地域別売上高前年同期比

- ・国内：前年の補正予算案件の反動。物価上昇に伴う医療機関の投資抑制
- ・海外：北米は血管撮影システム、中国は現地生産のX線TVが増加
その他アジアは、前年の大口案件（回診車）の反動

為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
日本	+24%	+8%	▲10%	▲3%	+3%	+13%	+12%	▲3%	+5%	+7%	▲24%	▲20%
北米	+3%	▲16%	+11%	+14%	+2%	+4%	+52%	+21%	+28%	+26%	▲18%	+11%
欧州	▲13%	▲39%	▲33%	▲12%	▲27%	+5%	+61%	+2%	+33%	+22%	+16%	▲7%
中国	▲25%	+3%	▲11%	▲10%	▲11%	+12%	▲12%	+5%	+23%	+6%	+24%	+38%
その他のアジア	+16%	+7%	+26%	▲22%	+4%	+10%	+16%	+7%	+19%	+13%	+20%	▲28%

為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
日本	+24%	+8%	▲10%	▲3%	+3%	+13%	+12%	▲3%	+5%	+7%	▲24%	▲20%
北米	+2%	▲19%	+2%	+5%	▲3%	▲12%	+22%	▲3%	+11%	+5%	▲23%	+6%
欧州	▲21%	▲42%	▲36%	▲14%	▲31%	+0%	+50%	▲8%	+22%	+13%	+7%	▲18%
中国	▲27%	▲1%	▲18%	▲18%	▲16%	▲6%	▲30%	▲16%	+7%	▲12%	+17%	+32%
その他のアジア	+15%	+5%	+18%	▲28%	▲0%	▲2%	▲4%	▲11%	+7%	▲3%	+14%	▲31%

産業機器/機種別売上高前年同期比

- TMP** : SPE向け減少、グリーン関連向け（建材ガラス・太陽電池薄膜用途）が増加
油圧 : 産業車両、小型建機が牽引
その他機種 : ガラスワインダの減少をEV用セラミック製造向け工業炉増で補う

為替影響を含む	FY2021					FY2022					FY2023	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
TMP	+16%	+38%	+50%	+27%	+32%	+20%	+22%	+9%	+1%	+12%	▲3%	+0%
油圧	+37%	+37%	+21%	+5%	+24%	▲1%	+1%	+3%	+10%	+3%	+10%	+8%
その他	+33%	+32%	▲3%	+18%	+17%	+17%	+12%	+11%	+24%	+16%	▲2%	+2%

為替影響を除く	FY2021					FY2022					FY2023	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
TMP	+13%	+35%	+44%	+22%	+28%	+11%	+11%	▲1%	▲6%	+3%	▲7%	▲4%
油圧	+34%	+34%	+18%	+3%	+21%	▲6%	▲4%	▲2%	+7%	▲1%	+9%	+7%
その他	+32%	+30%	▲6%	+14%	+15%	+7%	+1%	+2%	+17%	+7%	▲4%	+1%

リカーリング比率

計測 : 新型コロナウイルス検査PCR試薬は減少したものの、SDCの試薬が増加。保守サービスも増加

医用 : 部品販売が減少

TMP : SPEの稼働率低下により減少

計測	FY2021					FY2022					FY2023	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
リカーリング売上高 前年同期比	+33%	+16%	+4%	+6%	+13%	▲6%	+5%	+21%	+11%	+10%	+10%	+3%
リカーリング比率	38%	35%	35%	35%	36%	39%	36%	40%	33%	37%	39%	35%

医用	FY2021					FY2022					FY2023	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
リカーリング売上高 前年同期比	+14%	+9%	+2%	+1%	+6%	▲2%	+3%	+0%	+3%	+3%	▲3%	▲7%
リカーリング比率	38%	35%	39%	32%	36%	36%	32%	39%	30%	34%	42%	34%

TMP	FY2021					FY2022					FY2023	
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q
リカーリング売上高 前年同期比	+18%	+11%	+15%	+5%	+12%	▲1%	▲6%	+4%	▲17%	▲4%	▲9%	▲8%
リカーリング比率	17%	17%	15%	15%	16%	15%	14%	16%	13%	15%	15%	14%

※為替影響を除外